

平成25年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

我が国では、児童虐待の増加に伴い平成 12 年に「児童虐待の防止等に関する法律」が成立、施行された。近年の児童虐待の特徴やその要因を踏まえた児童虐待防止について、以下の各問に答えなさい。

- 問 1 図 1 は、平成 10～22 年度における児童相談所での児童虐待相談対応件数の推移について (<http://www.kodomosukoyaka.net/pdf/h23-gyakutai.pdf>)、図 2～3 はそれぞれ平成 12 年度と平成 22 年度の児童虐待の相談種別対応件数と主な虐待者別構成割合を示したものである。(福祉行政報告例の概況, 厚生労働省, 平成 12 年度, 平成 22 年度)。図 1～3 のデータを用いて近年の児童虐待の特徴について 800 字以上, 1000 字以内で述べなさい。
- 問 2 図 4 は、乳幼児を育てる父親、母親の子育ての悩みについての調査結果であり (社会法人全国私立保育園連盟, 乳幼児の育児と生活に関する実態調査報告, 平成 20 年) 図 5 は、世帯構造の推移について示したものである (国民生活基礎調査の概況, 厚生労働省, 平成 22 年)。図 4, 5 を参考にしながら、近年の児童虐待の相談件数の増加の要因および児童虐待を防ぐためにはどのようにすればよいのか、あなたの考えを 800 字以上, 1000 字以内で述べなさい。

非公開

図1 児童相談所での児童虐待相談対応件数

非公開

図2 児童虐待の相談種別対応件数

非公開

図3 児童虐待相談の主な虐待者別構成割合

非公開

図4 父母の子育ての悩み

非公開

図5 世帯数と平均世帯人員の年次推移

平成25年度入学試験問題（後期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース

出題の意図

我が国では、児童虐待の増加に伴い平成12年に「児童虐待の防止等に関する法律」が成立、施行された。しかし、児童相談所による児童虐待相談対応件数は増加の一途をたどっている。平成22年度には、全国の児童相談所に対応した児童虐待相談対応件数が5万件を超え、社会問題として取り上げられている。児童虐待の特徴および社会情勢を踏まえた児童虐待の特徴およびその要因について理解を深め、児童虐待の防止に向けた取組が急務である。そのため、近年の児童虐待の特徴やその要因を踏まえた児童虐待防止について考えることは、本コースのアドミッションポリシーである「心理臨床という営みについて科学的にアプローチし、心の癒やしに関わる多様な専門的技術を身につける」ことに即した重要なテーマと考えられる。

本コースではグラフや表などの客観的なデータから問題の本質を読み取る能力を重視している。今回の問題では、問1では児童相談所による児童虐待の件数、相談種別、主な虐待者構成割合の推移から、現代の児童虐待の特徴について、どのように考察できるかを問う。また、問2では児童虐待の要因及び防止について考察できるかを問う。具体的には、以下の2点について問う。

1. 近年の児童虐待の特徴について、客観的な洞察力を問う。
2. 児童虐待の特徴について、社会的要因を踏まえた児童虐待の要因及び防止について論理的かつ独創的な思考力を問う。